

# 検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2010年3月8日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)【No.96】

## 常識では考えられない公私混同極まりない金銭管理！

松崎氏の国際交流基金口座への入出金に関する支離滅裂な証言について、引き続き、「週刊現代裁判」(2009年1月26日)の尋問での証言内容を紹介していきたい。

(被告代理人)国際交流基金の口座にあなたのお金を入金することを決めたのは誰ですか。(松崎)それは、その事務を担当していた方だと思いますよ。(代理人)誰ですか。(松崎)(注:日本鉄道福祉)事業協会のYさんですね、と思いますけど。(代理人)あなたは、自分のお金である3800万円がどこに入金されたのか当初は知らなかったということですか。(松崎)いや、私はどこでもよかったんですよ。要するに、国際交流のためにいろいろ使おうと思っていましたから、そもそもコナなどに何かを買おうと思ってそこに金を入れたわけじゃないですから、取りあえず私が見えるようにしておいてもらえばいいだけのことで、それだけのことです。(代理人)国際交流基金の口座というのは、JR東労組等が設立した国際交流委員会のために使う経費を支出するための口座でしょう。(松崎)そうです。(代理人)そこにあなた個人のお金を入金したんですか。(松崎)ですから、結果的にそうなった。(代理人)まず、あなた個人のお金を入金したんですか。(松崎)そういうことです。(代理人)そして、その目的は国際交流のために使おうと思ったからということなんですか。(松崎)そういうことです。(代理人)国際交流のために使うお金は、当然国際交流委員会がこんな事業をやりましょうとか、こういう予算を立てましょうとやって決めるわけですが、そういうことも決めないまま、あなたは3800万円を国際交流委員会の口座に入金したんですか。(松崎)私が入れたわけではありませんが、そのような手続をYさんがやってくれたということです。(代理人)だから、その点についてはあなたは事後的にはあれ了承したんですか。(松崎)支出するときに分かったですだからね。(代理人)じゃあ、支出するまで分からなかったんですか。(松崎)分かりませんね、別に。(代理人)3800万円がどこにあったか。(松崎)はい。(代理人)あなたは、当時資産はいくらくらい持っていたんですか。(松崎)分かりませんね。(代理人)全然わからないの。(松崎)はい。(代理人)全然気にされなかった。(松崎)余りにしないたちです。 (代理人)だけど、報告はあったでしょう。3800万円、どうしましたかと、ここに入金してありますとかいうのは。(松崎)いや、私は特別聞いていませんから。(代理人)どこかにあると思っていたの。(松崎)それはそうですよ。(代理人)もちろん勝手に使い込むわけじゃないからね。(松崎)はい。(代理人)それで、国際交流のために使おうと思っていたんですか。(松崎)そうです。(代理人)どこにあるかは分からなかったわけでしょう。(松崎)はい。(代理人)国際交流基金の口座にあるか分からなかったんでしょ。(松崎)そうです。

### 金には興味ないような松崎氏の口ぶり！そもそも自分の金なのか？

松崎氏は3800万円を「国際交流のために使おうと思っていた」と述べながら、結局、この資金で自分のハワイのリゾートマンションを購入し、息子夫婦を住まわせていた。そして、鉄道福祉事業協会の書記が、松崎氏にも国際交流委員会にも何の了解も得ず、JR総連の「国際交流基金」に勝手に入金していたというのも、常識では到底考えられない。さらに、3800万は沖縄の別荘の売却代金というが、先に検証した通り、その購入の経過をみても、そもそも別荘自体が松崎氏のものとは考えられないのである。金には興味のない善意の篤志家のような松崎氏の口ぶりだが、いい加減な証言を誰が信用するだろうか。あきれた公私混同ぶりから、組織私物化の疑惑はますます高まるばかりだ！